

令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和3年7月【書面開催】

2 会場 ー

3 出席委員

和泉 伸一

大内 えりか

加藤 智恵

佐藤 敦子

武 富夫

市岡 恒

小島 嘉男（校長職務代理者）

4 内容

(1) 副校長あいさつ

(2) 当面の間の本校の体制について

(3) 令和2年度学校評価報告書（実施結果）について

(4) 令和3年度学校教育計画等について

(5) 令和3年度の教育活動について

(6) 今後の予定

(7) 再定義用のミッション（案）について

5 各委員より

- ・令和2年度学校評価報告書について、目標設定と評価がきちんとされており、それを踏まえて令和3年度の目標設定も適切にできている。

コロナ禍でも生徒さんはクリエイティブにイベントなどを企画・実施したそうだ

が、通常と異なる制約のある環境の中で、彼らが実際どのように学んだのか、また感じたのか、前年、前々年と比較できるアンケート結果等が含まれれば成果の可視化にさらに繋がると思う。

- ・ 神奈川総合高校は生徒一人ひとりの個性を大切に、伸び伸びとした自由な発想をする子供たちの可能性を高める教育を求め続けて、次世代の人材を育成する大事な使命のある学校だと考えている。「個性」「多様性」といった言葉にしっかりとした内実を持たせられる教育活動を展開してもらいたい。
- ・ グローバル化の中、総合的な視点が課題への最適な解答を導くことができる。分野横断的に複雑な関係性、繋がりを理解して、持続可能な社会の構築に貢献できる人材の育成を期待する。
- ・ 地域の様々な活動体験（農業体験等）が豊かな人間性の育成に大きく寄与し、さらに健全な思考力・判断力・協働性を向上させる。さらに外部連携の推進に努めてもらいたい。
- ・ コロナ感染の猛威が収まらず、生徒の安全を守りながら活動内容を厳選して対策を日々講じていることがよくわかった。今後も生徒が自律的かつ意欲的に学びを深められるような環境づくりをお願いしたい。
- ・ コロナ禍の厳しい状況の中、学校運営の目標に対して成果を上げていることを大変有り難く感じている。示されたスクールミッション（案）に基づいて、より良い学校を目指して活動を継続してもらいたい。

6 その他（事務連絡等）

次回は3月開催の予定